

令和5年度 事業報告

社会福祉法人名古屋市熱田区社会福祉協議会

はじめに

令和5年度も年度当初は、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、令和4年度に引き続き感染対策を行った事業展開を行ってまいりましたが、第5類感染症に移行後は、徐々にコロナ禍前の活動が再開される年となりました。地域においても、会食形式でのふれあい給食会やサロン活動が再開され、かつての賑わいが戻ったことを実感できる1年になりました。

一方、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では石川県を中心に甚大な被害が発生し、今なお不自由な避難生活を余儀なくされている方々が多くいます。熱田区においても、より一層の防災・減災対策に注力し、災害への備えを整えていかなくてはならない事を強く意識することとなりました。

コロナ禍にあっても地道に取り組んできたことや、創意工夫で乗り越えた経験を踏まえて、新しい地域福祉の形を意識して各種事業を実施しました。

○ 令和5年度は、『ぬくといつながり』のあるまち熱田」を目指してさまざまな地域福祉に関する取り組みを実施していく第4次熱田区地域福祉活動計画（5か年計画）の5年目でした。次期計画への改善と継承を意識しながら各種事業に取り組んだ他、第5次熱田区地域福祉活動計画の策定を地域住民や関係機関と共に行いました。

○ 地域福祉の推進については、コロナ禍において、地域福祉推進協議会等を中心にふれあい給食会やサロン活動等、学区における地域福祉活動が自粛されました。しかし、そういった中でも人とのつながりがとぎれることのないように、地域福祉推進協議会で実施している既存事業の実施方法に工夫をする他、取り組みの見直しを行いました。また、新たに取り組まれた事業への支援を行いました。その他、地域包括ケアシステムの構築が進められるなか、名古屋市地域支えあい事業については、名古屋市内で初めて区内全学区の実施を開始し、住民同士の相談支援機能の充実を推進しました。

○ 「ふれあい・いきいきサロン活動」については、運営の継続に向け、運営にかかる財政面での支援を行うとともに、ボランティアの調整、レクリエーション用品の貸出等を行いました。また、新たに6カ所のサロン開設（子ども食堂含む）がありました。

生活支援サービスの充実に向けた取り組みとしては、制度やサービスの狭間にいる方が必要なサービスを利用しやすくするために、地域の力でできることを協議しました。

○ 重層的支援体制整備事業の受託

令和4年10月からの準備期間を経て、令和5年4月から当該事業を試行実施として名古屋市から受託しました。「制度の狭間の問題」や「8050問題」等を始めとした地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対して、①包括的な相談支援②参加支援③地域づくりの支援という3つの支援を一体的に実施しました。

多機関協働事業での連携強化を目的に、熱田区独自の「担当者会」を開催し、学習支援や居住支援活動を行う NPO 法人やヤングケアラー・コーディネーター、子ども応援委員会等の様々なゲストとの交流を通じて相互理解を深め、庁内連携やネットワークの構築に努めました。

また、令和5年7月に市営住宅二番荘内に参加支援及び地域づくりの拠点となる「にばん荘ハウス」を開設しました（開所日：毎週火曜・金曜）。「にばん荘ハウス」では、お好み焼きやお菓子づくり、ゲーム等の多様な参加支援メニューをもとに、要支援者の「やってみたい」に焦点を当て、オーダーメイド支援を展開し、参加支援の積み重ねを行いました。

- ボランティアセンター運営では、新型コロナウイルスの感染症の第5類移行に伴い、ボランティアの受け入れや活動を再開するところが増え、ますますボランティア活動者にとっての選択ができる状況になってきました。

また、災害に関する情報交換や啓発活動、災害発生時には被災者の生活復旧の支援を行う「あつた災害ボランティアネットワーク」においては、令和6年1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」を受け、なごや災害ボランティアネットワーク等と協力し穴水町への被災地派遣や、いずれ訪れる「南海トラフ大地震」に向けてより一層防災意識の強化を目的とした防災啓発や災害ボランティアセンターの立ち上げを学ぶ研修会を区役所総務課と連携しながら実施しました。
- 名古屋市受託事業である「はつらつ長寿推進事業」については、一般介護予防事業地域介護予防活動の支援事業に位置付けられており、令和5年度より新たに3年間の受託期間が開始されました。5月25日以降、コロナ禍前と同様に一部制の開催に戻したことで、充実したプログラムを実施することができました。
- 名古屋市熱田福祉会館・児童館の運営については、令和5年度が指定管理4年目でした。5月以降、新型コロナ感染拡大対策の緩和により、様々な事業を再開することができました。大幅な利用者増となり、楽しくにぎやかな館運営に取り組んでいます。
- 熱田区デイサービスセンターについては、通所介護事業、予防専門型通所介護事業を実施し、利用者様ができる限り在宅生活を続けられるよう、機能訓練や入浴等の利用者様の必要なサービスを提供し、心身の機能維持を図りました。令和4年度に引き続き感染症対策を継続し、安全にご利用していただけるよう配慮しつつ、季節のイベントを増やす等、職員で工夫を凝らして利用者様に満足いただけるような運営に努めました。
- 名古屋市社会福祉協議会が運営する熱田区いきいき支援センターについては、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、事業対象者・要支援者に対する介護予防ケアマネジメント業務を実施しました。また、認知症家族支援事業では、家族教室、家族サロン、もの忘れ相談を実施し、日頃の悩み等の情報交換や交流会を実施しました。加えて、認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員を配置し、個別ケースへの対応や市民への啓発に取り組みました。

さらに、孤立しがちな高齢者の見守り支援事業では、高齢者のニーズに対応できる関係機関と連携しながら、ワンストップ相談窓口としての役割を担いました。
- 名古屋市社会福祉協議会が運営する熱田区介護保険事業所については、居宅介護支援事業、訪問介護事業の運営に引き続き協力し、ご利用様が安心して地域で暮らし続けられる介護保険サービスの提供に努めるとともに、障害者総合支援法における居宅介護事業においても質の高いサービスの提供に努めました。

実 施 事 業

1 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉推進協議会活動の活性化

地域福祉推進協議会（以下、「推進協」という。）が実施する「ふれあい給食サービス事業・ふれあい・いきいきサロン活動」や「ふれあいネットワーク活動」等の活動支援及び事業参加者の相談支援を職員学区担当制において行いました。

※「ふれあい給食サービス事業」は新型コロナウイルス感染拡大の影響により配食や持ち帰り方式に変更し、「ふれあい・いきいきサロン活動」は2部制で行う等、密集しないようにして開催してまいりましたが、令和5年5月以降、順次コロナ禍前の実施形態に戻しての開催となりました。

(2) 研修会等の開催

① 地域福祉推進協議会研修会

推進協構成員を対象に、令和5年3月に野立学区が地域支えあい事業を開始したことにより、熱田区内全学区で地域支えあい事業が実施となったことを踏まえ、改めて地域福祉推進協議会の役割や推進協が行う生活支援の必要性を確認し、今求められる地域福祉推進協議会事業のあり方を考える研修会を開催しました。

期日：8月7日 場所：在宅サービスセンター研修室 参加人数26人

② 地域福祉推進協議会連絡会

推進協構成員を対象に、熱田保健センター長による「ソーシャルキャピタルの醸成」について講演していただきました。

期日：3月5日 場所：在宅サービスセンター研修室 参加人数24人

(3) 高齢者サロン整備等生活支援推進事業（市委託事業）の実施及びふれあい・いきいきサロンの開設・運営支援

区内における既存のサロン活動を活性化し、新規開設の相談や活動支援等を行いました。また、区内のサロン運営者が一同に会した研修交流会を開催し、サロン運営について各サロンの取り組みや工夫を情報共有し、サロンの相談機能の強化と活動の充実を図りました。

○サロン研修交流会

期日：8月30日

場所：在宅サービスセンター研修室

参加者数：17人



サロン交流会

○生活支援部会

① 期日：6月30日

場所：在宅サービスセンター研修室

部会員数 16人

② 期日：1月24日 場所：在宅サービスセンター研修室

部会員数 12人

③ 期日：3月19日 書面開催

部会員数 18人

部会では、生活支援サービスの充実を目指し、見守り、エンディングサポート

について地域の力でできることを協議しました。また、必要なサービスを比較、選択しやすくするために、「見守りサービス情報ハンドブック」を発行しました。

(4) 名古屋市地域支えあい事業（市委託事業）の実施

住民からの困りごとや悩みごとの相談を受け付け、相談内容の解決に向けたご近所ボランティアの派遣調整を行うご近所コーディネーターを委嘱し、住民にとって身近な場所であるコミュニティセンターでの相談窓口の開設及び支援を行いました。

令和5年3月からは野立学区でも事業を開始し、区内全7学区（高蔵、旗屋、白鳥、船方、千年、野立、大宝）での実施となりました。

【活動実績】

学区	①相談窓口開設日数	②ボランティア登録人数	③ボランティア実活動者数	④認定事業数	⑤活動ポイント計	内 訳		⑥ポイント還元金額（円）
						市認定事業ポイント（高齢者対象）	社協認定事業ポイント（その他）	
高 蔵	96	93	60	16	8,753	7,593	1,160	87,530
旗 屋	90	140	77	14	4,530	4,264	266	45,300
白 鳥	92	146	112	18	14,327	11,662	2,665	143,270
千 年	95	27	22	7	1,330	1,213	117	13,300
船 方	94	188	126	14	11,540	7,025	4,515	115,400
野 立	147	84	50	6	3,072	2,639	433	30,720
大 宝	104	118	64	12	5,131	5,011	120	51,310
合 計	718	796	511	87	48,683	39,407	9,276	486,830

【具体的な活動の例】

廃品回収品の搬出、書類確認、手すり取付けや電球交換などの簡単な修繕、散歩同行、掃除、庭の水やり、話し相手、ゴミ出し、資源回収の手伝い、買物支援、高齢者サロン・子育てサロンの運営、子ども食堂等による子どもの居場所づくりの支援、買物が課題となっている町内への移動販売の誘致、ふれあい給食会の運営など

※新型コロナ第5類移行後、全体として地域福祉活動（サロン）の停滞は解消

(5) 高齢者はつらつ長寿推進事業（市委託事業）の実施

コミセン等区内8会場にて、通称「おひさまクラブ」として、地域ボランティアとの協働により健康増進活動やレクリエーション等の介護予防活動の普及啓発を通じて介護予防への理解を促し、高齢者の自主活動や地域活動等への参加促進を図ることを目的に実施しました。



作品づくり



健康体操

場 所	曜 日	時 間	上半期			下半期		
			延実施回数	延参加者数	延ボランティア数	延実施回数	延参加者数	延ボランティア数
高蔵コミセン	毎週月曜日	9:30~11:30	23	309	88	22	349	73
在宅サービスセンター		13:30~15:30	23	521	86	22	480	72
大宝コミセン	毎週火曜日	9:30~11:30	24	461	40	24	496	41
千年コミセン		13:30~15:30	24	223	20	24	238	24
白鳥コミセン	毎週木曜日	9:30~11:30	23	391	45	23	385	45
旗屋コミセン		13:30~15:30	22	412	38	23	338	47
野立コミセン	毎週金曜日	9:30~11:30	24	454	47	22	383	42
船方コミセン		13:30~15:30	21	411	54	22	438	52
合 計			184	3,182	418	182	3,107	396

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により 4/1~5/24 まで 2 部制少人数にて開催。

(6) 第4次熱田区地域福祉活動計画の実施

○会議等

第4次地域福祉活動計画振り返り会議 11月1日

○実施事項

各プロジェクトが「組み合わせる」、「育む」、「活かす」の3つのアプローチによって「ぬくといつながりのあるまち」を目指し、さまざまな事業に取り組みました。

- ・生活支援部会 P7 参照
- ・福祉教育の実施 P10-11 参照
- ・あったか食サポート事業の実施 P12 参照
- ・ボッチャ部（ボッチャ普及プロジェクト）の取り組み
- ・つながり動画制作プロジェクト
- ・スマホ講座プロジェクト
- ・ポロシャツで地域福祉応援プロジェクト
- ・若年者伴走型就労支援プロジェクト
- ・リ・ユースでリ・スタート支援プロジェクト 他

(7) 第5次熱田区地域福祉活動計画の策定

策定作業委員会の開催

6月5日、7月28日、9月19日、11月1日、12月19日、
2月2日、3月12日 計7回

基本理念「ぬくといつながり」のある暮らし

- 目標
- ①困ったときにヘルプが言えるまち
 - ②ヘルプに気づき助けてくれるまち
 - ③つながりたい時につながるができるまち

2 重層的支援体制整備事業の実施

【契約期間】

令和5年4月から令和6年3月まで試行実施

※令和8年3月31日までの間に限り、年度ごとに継続委託の適否判断により更新可能。

【令和5年度新規ケース相談件数(プラン化されていない新規相談件数は除く)】

25件

【令和5年度ケース対応件数】

事業	件数
多機関協働事業	111件
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	113件
参加支援事業	92件
その他 (プラン化されていないケース)	183件

【参加支援・地域づくり支援の活動実績】

事業	回数
参加支援事業	81回
地域づくり支援事業	33回

【会議の開催状況】

会議	回数
区連携会議	2回
重層的支援会議	4回
ケース会議	13回

3 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンターの運営

- ① ボランティア登録数
- | | |
|----|----------------|
| 団体 | 79団体 (1, 275人) |
| 個人 | 99人 |

- ② ボランティア相談の充実
- ボランティア活動の活性化を目的に、ボランティア相談を受け付けました。
- ボランティア相談件数 95件

- ③ ボランティア活動保険・行事用保険の加入受付
- 安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア保険への加入推奨、受け付けを行いました。
- ・ボランティア活動保険加入 計1, 144人
 - ・ボランティア行事用保険加入 計(延べ)93件、6, 932人

(2) ボランティア情報紙の充実

ボランティアに関する情報を集積し、広く区民に発信していくために、ボランティア情報紙「あつたボランティア通信」(No.83、No.84、No.85)を発行しました。

(3) 福祉教育の充実

学校等からの依頼を受けて、福祉教育サポーターとの企画検討・立案、サポーターや当事者講師の派遣等、福祉教育を実施しました。

- ① 沢上中学校 3年生
- 6月12日 障がい当事者による道徳講演会

- ② 名古屋学院大学
6月20日 ボランティア学での講義
- ③ 南特別支援学校 高等部2年生
9月15日、2月8日 高齢者疑似体験、車いす体験、手話体験
- ④ ハローワーク名古屋南
11月15日 車いす体験、白杖歩行体験
- ⑤ 沢上中学校 1年生
11月21日 車いす体験
- ⑥ 船方小学校 5年生
12月13日 ボッチャ交流、点字体験
- ⑦ 大宝小学校 4年生
1月18日、2月16日 ボッチャ交流、ガイドヘルプ体験、手話体験、車いす体験
- ⑧ 南特別支援学校 中等部2年生
2月21日 地域住民とのボッチャ交流

(4) あつた災害ボランティアネットワークとの連携・活動支援

「あつた災害ボランティアネットワーク」、区役所と連携し、災害に強いまちづくりに向けた防災啓発に取り組むとともに、「あつた災害ボランティアネットワーク」の活性化を図るための活動を支援しました。

【定例会】毎月 主に第2土曜日

- ① 4月8日 ② 5月13日 ③ 6月10日 ④ 8月12日 ⑤ 9月9日
 - ⑥ 11月11日 ⑦ 12月2日 ⑧ 1月13日 ⑨ 2月10日 ⑩ 3月9日
- ※7月は中止。

【主な活動実績】

- ① 生涯学習センター講座（6月20日）
- ② イオンモール熱田防災イベント参加（9月17日）
- ③ 熱田福祉会館防災セミナー（11月30日）

4 在宅サービスセンターの運営

熱田区在宅サービスセンターは、誰もが住みなれた家庭や地域で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携に努め、在宅サービスの提供と地域福祉活動の推進を総合的に進めることを目的に設置されています。

通所介護事業（熱田区デイサービスセンター）の運営を始め、地域福祉活動の拠点として、研修室、ボランティアルーム、調理実習室等の貸し出しを行いました。また、区民の方の利便性を考慮し、ボランティアの方々にご協力をいただき、施設内の整理整頓に努めるとともに、授産製品の販売協力を行いました。

【利用実績】

	研修室	ボランティア ルーム	録音室	点訳室	調理 実習室	合 計
延利用団体数(グループ)	332	280	19	79	150	860
延利用者数(人)	6,217	2,138	102	175	1,274	9,906

5 福祉情報の発信・啓発

(1) 広報紙「福祉あつた」の発行

熱田区社会福祉協議会 広報紙「福祉あつた」を年3回（6・10・2月）発行し、組回覧による区民への情報提供を行ないました。

No.8 1、No.8 2、No.8 3 各3, 550部発行

(2) 音声訳テープ貸出事業の推進

朗読ボランティアグループ「銀のすず」の協力を得て「広報なごや熱田区版」音声訳テープ貸出事業を実施しました。

利用者数 1人

延利用者数 12人

(3) ホームページの内容充実

情報発信の場として活用するとともに、双方向性を生かして、区民との交流の場としても活用できるよう内容の充実に努めました。また、社会福祉協議会の事業を広く知っていただくため、インスタグラムを開始すると共に、ブログの充実に努めました。

6 賛助会員事業

(1) 賛助会員募集（アツタック福祉サポーター募集）

熱田法人会の協力を得て広報活動を展開し、賛助会員の募集を実施しました。

法人・団体 61件 (608,000円)

個人 24件 (123,000円)

賛助会費 731,000円

(2) 寝具クリーニング事業の実施

在宅福祉サービスの一環として、介護保険の要支援・要介護認定を受けているひとり暮らし高齢者や生活保護受給者等を対象に、賛助会費を活用した寝具クリーニング事業を実施しました。

利用者数 57人

(3) 在宅介護用品貸出事業の充実

在宅福祉サービスの一環として、介護保険外で一時的に車いすを必要とする方を対象に、車いすの貸し出しを行いました。

法人賛助会員や区内サロン等を対象に、ボッチャやボードゲーム等のレクリエーション用品の貸し出しを実施しました。

利用件数 96件

(4) あったか食サポート事業の実施

食品の提供企業等と連携し、地域の子ども食堂や生活困窮世帯に対する食支援を実施すると共に、SDGs達成に向けた食品ロス削減の取り組みに協力しました。

実施回数 20回 利用団体数 90団体

7 他機関との連携

施設、ボランティアグループ、地域住民が交流する機会や場づくり

障がい者団体、福祉施設等の区内のさまざまな組織と連携し、地域共生社会の実現に向けて、福祉施設、ボランティアグループ、地域住民がつながるきっかけとして、障がい者スポーツである「ボッチャ」等を活用しながら、区民まつりや熱田区障害者自立支援連絡協議会の活動及び第4次計画の取り組みと連携した交流会等の

つながり企画を行いました。

8 福祉関係団体等活動への支援

福祉関係団体の実施する事業に対し、愛知県共同募金会からの配分金により助成事業を実施し、高齢者、児童、障がい者の各団体の地域における福祉活動を支援しました。

9 生活福祉資金貸付事業の実施

新型コロナウイルス特例貸付の対象者フォローアップの他、通常貸付事業として一時的な資金が必要な方への貸し付けを実施しました。

① 緊急小口資金・通常貸付	
相談件数	204 件
貸付決定数	3 件
貸付金総額	265,000 円

② 上記以外で低所得者の方等に民生委員と協力して資金の貸付を実施	
相談件数	135 件
貸付決定数	5 件
貸付金総額	3,188,000 円

10 熱田区デイサービスセンターの設置運営

介護保険法による通所介護事業について、下記の特徴を活かして実施しました。

(1) 機能訓練・レクリエーションの充実

機能訓練指導員が直接指導し、お客様個々の身体状況にあわせた運動プログラムに基づき、機能低下を防止する運動を行いました。また、楽しく無理なく身体を動かせるよう健康体操・音楽療法・ヨガ・太極拳等レクリエーションを行いました。

(2) 認知症予防への取り組み

計算問題・回想法やトランプ、脳を使うレクリエーションに毎日取り組んでいただきました。

【デイサービスセンター利用実績】

年間1日平均利用者数 22.7人 (昨年度 20.8人)

【月間延利用者数と1日平均利用者数】

(人)

月	運営日数	延利用者数	1日平均利用者数	月	運営日数	延利用者数	1日平均利用者数		
4月	25	506	20.2	10月	26	614	23.6		
5月	27	554	20.5	11月	26	595	22.9		
6月	26	573	22.0	12月	24	552	23.0		
7月	26	598	23.0	1月	24	587	24.5		
8月	27	568	21.8	2月	25	603	24.1		
9月	26	574	22.1	3月	26	640	24.6		
合 計				307				6,964	22.7

1 1 福祉会館・児童館の管理・運営

(1) 福祉会館の管理運営

高齢者の福祉増進に寄与することを目的に名古屋市が設置する施設です。無料の健康相談を始めとした各種相談、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動等に関する事業を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により休止していた入浴事業を再開しました。 *指定管理期間(令和2年度～6年度)

【事業実績：福祉会館利用状況】

利用者数			講座(華道・書道・体操等)	
個人利用	団体利用		回数	人員
	団体	人員		
23,980人	528団体	4,228人	383回	9,403人

(2) 福祉会館認知症予防事業

市内在住の65歳以上の高齢者の方等を対象とした「認知症予防教室」や地域で認知症予防を普及啓発するリーダーを養成する「認知症予防リーダー養成講座」「フォローアップ交流会」を実施しました。また、昨年度から引き続き「お出かけ回想法」を実施し、コロナ禍で外出機会が少なくなった利用者に向けて、外に出て活動するきっかけづくりを行いました。

① 認知症予防教室

実施回数	延人員
143回	1,536人

② 認知症予防リーダー養成講座・フォローアップ交流会

実施回数	延人員
62回	229人



認知症予防教室「のびやかクラブ」



「お出かけ回想法」

(3) 児童館の管理運営

遊びは、子どもの成長過程において、体力増進や集団性・社会性・創造性等を養い、よりよい成長を促す重要な糧となります。熱田児童館では、活動の中で、子どものよりよい成長を考えた遊びのプログラムや遊び場の提供に努めるとともに、児童館がすべての子どもたちが安心して遊び、過ごすことができる居場所となることを目指し、事業に取り組みました。

今年度は、新型コロナ感染対策の緩和により、5月以降は事業を通常開催しました。賑わいも戻りつつあり、前年度を上回る利用状況になりました。

【事業実績：児童館利用状況】

館内遊び場利用（延べ人数）					
幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
5,286人	9,886人	996人	71人	5,833人	22,072人

健全育成事業				クラブ活動	
館内事業		館外事業		館内事業	
開催回数	利用者数	開催回数	利用者数	開催回数	利用者数
480回	3,259人	15回	297人	70回	732人

【中学生の学習支援事業・高校生世代への学習・相談支援事業】

ひとり親、生活保護、生活困窮者家庭の中学生を対象に学習支援事業及び、高校生世代への学習・相談支援事業を実施しました。

中学生の学習支援事業		高校生世代への学習・相談支援事業	
開催回数	出席者数	開催回数	出席者数
102回	72人	102回	4人



クライミング体験



あっちゃんファーム芋ほり

1.2 共同募金運動への協力

募金活動を通して、福祉の理解（啓発）や福祉活動への参加を呼びかけました。

1 3 基盤体制の整備

(1) 財政運営の適正化

ア 会員・賛助会員制度の充実

安定的な財政運営のため、これまでつながりのなかった区民や企業へ、新たなチラシを作成する等の広報活動を展開するとともに、レクリエーション用品貸出事業を実施する等、会員・賛助会員制度の充実と新規会員の拡充を図りました。

イ 寄附財源の有効的な運用

区民からの寄附を財源として有効的な事業の実施に活用しました。また、新たに生活家電や食材等の物品寄附を受け、生活困窮世帯や子ども食堂等へ配布を行いました。

(2) 職員の資質向上

ア 名古屋市社会福祉協議会研修事業への参加

名古屋市社会福祉協議会が実施する職員研修等に参加し、職員の育成及び資質向上を図りました。

イ 部門間連携の強化

名古屋市社会福祉協議会の実施する、臨床心理士指導による「職場環境改善事業」にエントリーし、事務所内での他部門・多職種の連携強化に努めました。

1 4 名古屋市社会福祉協議会のいきいき支援センターの運営事業への協力

高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り地域において自立し、安定的な生活ができるように、総合相談支援、介護予防マネジメント、見守り支援事業等を行ういきいき支援センター事業に協力し、関係機関との連携のもと円滑な事業・運営に努めました。

(1) 熱田区いきいき支援センター事業

【相談状況（延件数）】

総合相談支援・ 権利擁護事業	包括的・継続的 ケアマネジメント事業	
4,029 件	困難ケース相談 630 件	ケアマネ支援 2,076 件

【第1号介護予防支援・介護予防支援の利用状況（延人数）】

利用者数	うち地域包括直営分	うち居宅介護支援 事業所委託分	委託率
10,405 人	2,234 人	8,171 人	78.5%

(2) 見守り支援事業

【地域との関わりづくり等】

通報件数	相談対応件数（延人数）
13 件	624 件

【いきいきコール】

ケース数	相談件数（延人数）
22 人	901 人

(3) 認知症高齢者を介護する家族支援事業

「家族教室」「家族サロン」「医師の専門相談」を実施し、また認知症に関する普及啓発のため、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

【認知症高齢者を介護する家族支援事業】

家族教室		家族サロン		医師の専門相談	
回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
10回	30人	12回	101人	12回	17人

※医師の専門相談は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止の月あり。

【認知症サポーター養成講座】

実施回数	受講者数
29回	392人

(4) 地域包括ケア推進会議

① 地域包括ケア推進会議の開催

地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動等に関係する団体が、住み慣れた地域において高齢者が安心して生活できるよう、高齢者の支援を進めるための協議を目的に地域包括ケア推進会議を開催しました。

第1回：9月7日開催 第2回：3月7日開催。

② 認知症専門部会の開催

地域包括ケア推進会議では、認知症高齢者が地域で安心して生活していくための取り組みを検討する専門部会を設置・開催しました。

第1回：6月15日開催 第2回：12月7日開催 第3回：2月8日開催

③ 生活支援部会の開催

P7 参照

1.5 名古屋市社会福祉協議会の「居宅介護支援事業」及び「訪問介護事業」への協力

本会事務所に設置している名古屋市社会福祉協議会の「介護保険事業所」に協力し、居宅介護支援事業と訪問介護事業の円滑な事業・運営に努めました。

熱田区介護保険事業所の状況（令和6年3月末現在）

① 居宅介護支援事業

ア 介護支援専門員数	…	5人
イ 居宅サービス計画作成依頼数	…	182人
（内訳）介護給付	…	114人
予防給付	…	46人
総合事業	…	22人

② 訪問介護事業

ア 訪問介護員数	…	42人
（内訳）サービス提供責任者	……	6人
パートサービス提供責任者	…	0人
ホームケアスタッフ	………	1人
なごやかスタッフ	……	35人
		（常駐スタッフ2人含む）

イ ホームヘルプサービス件数… 233人

(内訳) 介護保険サービス利用 …… 167人

介護給付	……	62人
予防専門型訪問	……	98人
生活支援型訪問	……	7人

介護保険外サービス利用 …… 66人

障害者自立支援	…	54人
家事介護（産前産後・ひとり親・犯罪被害者等）	…	3人
生活応援サービス	……	9人
養育支援	……	0人

会議開催

【理事会】

回	日付	議題等
令和5年度 第1回理事会	令和5年 5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の選任について ・令和4年度事業報告書について ・令和4年度決算書について ・任期満了にともなう役員候補者の提案について ・評議員選任・解任委員会の開催並びに評議員候補者の推薦について ・諸規程の一部改正について ・定時評議員会の招集について
令和5年度 第2回理事会	令和5年 6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選任について ・顧問の選任について ・総括理事の指名について ・評議員選任・解任委員会の開催並びに評議員候補者の推薦について
令和5年度 第3回理事会	令和5年 12月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更について ・令和5年度資金収支補正予算について
令和5年度 第4回理事会	令和6年 3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画について ・令和6年度資金収支予算について ・諸規程の一部改正について ・令和6年度評議員会の招集について

【評議員会】

回	日付	議題等
令和5年度 定時評議員会	令和5年 6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告書について ・令和4年度決算書について ・役員（理事・監事）の選任について
令和5年度 第2回 評議員会	令和5年 12月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部変更について ・令和5年度資金収支補正予算について
令和5年度 第3回 評議員会	令和6年 3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画について ・令和6年度資金収支予算について ・会長専決規程の一部改正について

【評議員選任・解任委員会】

回	日付	議題等
第1回	令和5年 5月31日	熱田区在宅サービスセンター 研修室 ・評議員の選任の議決
第2回	令和5年 6月22日	熱田区在宅サービスセンター 研修室 ・評議員の選任の議決

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。